

習志野市青少年訪問団が姉妹都市タスカルーサを訪れました

習志野市青少年海外派遣事業として、7月20日(土)から8月2日(金)まで、姉妹都市タスカルーサ市に高校生20名と引率3名が派遣されました。タスカルーサやその周辺について学び、5月に習志野市を訪問した高校生たちと再会して交流を深め、彼らの支援で地域の方々と交流してきました。それらを通じて異文化を理解し、日本を外から見る経験をし、将来に向けて視野を広げるなど、派遣生たちはさまざまな貴重な体験をしてきました。



Schedule

7月20日(土)	羽田空港発 アトランタ経由タスカルーサ着
7月21日(日)	ホストファミリーと過ごす
7月22日(月)	タスカルーサ歴史ツアー、マウンドヴィル考古学公園、連邦裁判所
7月23日(火)	TCTA(タスカルーサキャリア&技術アカデミー)、NOAA(アラバマ大学水研究施設)、リサイクル工場見学
7月24日(水)	ハンツビル スペース&ロケットセンター
7月25日(木)	セントラル高校訪問&南部美術鑑賞
7月26日(金)	メルセデスベンツウェルカムセンター、ヴァルカン公園
7月27日(土)	ホストファミリーと過ごす
7月28日(日)	タスカルーサ湖にて BBQフェアウェルパーティー
7月29日(月)	アラバマ大学キャンパスツアー
7月30日(火)	市長および市議に面会
7月31日(水)	タスカルーサ発 アトランタ着 ワールドオブコカ・コーラ オリンピック公園 マーチン・ルーサー・キング生家
8月1日(木)	アトランタ発
8月2日(金)	羽田空港着



タスカーサから青少年訪問団 が来日しました

コロナの中断から6年ぶりに再開しました。5月28日(火)から6月10日(月)まで、高校生19名と付添2名が習志野市に滞在。ホームステイはじめ市内の高校や諸施設、富士吉田での交流により、互いに確かな友情を築きました。一部前号で既報。

タスカーサ高校生たちのメッセージ

みなさんが素晴らしい経験は忘れられない思い出と書き残してくれました。一部を紹介します。



■ジョナサン・ホリンズ

日本に降り立った時は、さあ何が起こるのだろうと感じました。でも、新しい人たちと交流を始め、街を見てみると、人々はとても礼儀正しく、街はとてもきれいなことに気づきました。また、日本人は、ほとんどの人が従っている多くのルールがあるという事実にもかかわらず、自国の文化についてよく知らない私たちをとても歓迎してくれました。日本人は皆、日本全体で共有されている行動規範を守っているということが非常に印象的でした。

結論として、私自身の文化と日本との最大の違いは、人々とその文化だということです。

■アリス・ソン

習志野での一番の印象は、NIAのスタッフやホストファミリーがとても温かく親切だったことです。ホストファミリーと過ごす時間が大好きで、夜の数時間でも、週末の丸一日でも、ホストファミリーと一緒に訪れた場所は本当に楽しかったです。

もうひとつの印象は、この交流全体(交通手段、毎日のアクティブ、そして食事)がとても素晴らしく計画されていたということです。正直なところ、学校に行くことがこんなに面白いとは思っていませんでした。学校でのプログラムは私の期待以上のものでした。また、富士山での日本人学生との交流や、友達とディズニーシーに行ったこともとても楽しかったです。この機会に本当に感謝しています。とても楽しく、いつまでも忘れられない思い出になりました。

■ジョーダン・ジョーンズ

まず、この旅は私を変え、自分自身について知らなかったことを教えてくれたということです。私が存在することを知らなかったものが、毎日、私の心を感動させてくれました。どの場所にもそれぞれの美しさがありました。とても信じられないような旅だったので、いつかまた戻って、もう一度すべてを経験し、人々に再会し、美しい花々や伝統を楽しみたいと思っています。

日本が私の魂に幸せを与えてくれたことに匹敵するものはほとんどないだろうと思います。私が日本に行くことに貢献してくれたすべての人に感謝します。皆さんがいなかったら、私は日本に行くことはなかったでしょう。改めて、この素晴らしい機会を与えてくれて、心から感謝します!

■クリスティーナ・ヤン

日本で特に印象に残っている2つのことは、食べ物と友達です。日本での一番の思い出は富士山への旅とホストファミリーとの夕食です。素晴らしい人達と関わったことそして料理。習志野市の派遣生との共同生活は間違いなくハイライトでした。他の学生と一緒に料理をしたり、ゲームをしたり、歌を歌ったり、日本を探検することができたことは、本当に良い絆を築く経験であり、一生忘れられない思い出になりました。さらに、私のホストマザーは料理がとても上手で、レストランのセンスも抜群でした。彼女は私に日本で一番おいしいそして人気のある料理はもちろん、あまり人気のない伝統的な料理も勧めてくれました。私の全体的な印象は間違いなく良いものでした。一人々と料理の両方において一生忘れられない思い出がいっぱいです。



日本語教室の親睦会夏祭りが開かれました 外国人の笑顔あふれる盆踊りは 奏でる未来！ 奈須野育美（日本語教室部会）

恒例の「親睦会夏まつり」が8月24日（土）サンロード津田沼6階の大会議室、および京成津田沼駅前広場の盆踊り会場で開催されました。外国人学習者とその家族や友だち（8か国/58名）、ボランティア、支援者合わせて合計89名の方が参加してくださいました。

外国人学習者はほとんどの方が浴衣着用を希望しました。フィリピン国籍の学習者は会社の同僚を引き連れて登場！10名近くの女性が瞳を輝かせて浴衣を選び、着付けを終えて「大満足！」カップルやご夫婦の方々は初めて見る相手の浴衣姿に「うっとり？」中には家族みんなで浴衣を着て「夢がかないました。ありがとう！」と言ってくれる方も。写真を撮り合っ

てSNSにアップしたり、国の家族に送ったり。「写真を撮りましょうか？」と声を掛け合うことで、新たな友だちができていました。

お菓子やおにぎり、サンドイッチなどの軽食を取りながら歓談し



た後、吉野会の皆さんの指導の下、大きな輪を作り盆踊りの練習。参加者たちは「フゥ〜♪」という声上がるほどリノリノリで楽しんでいました。

夕刻、京成津田沼駅前広場の盆踊り会場へ移動。宮本市長や主催者からも、国際交流協会の会員はじめ外国人の方々が多く参加する国際色豊かな盆踊りが、この夏まつりの特徴だと言っていました。古きよき盆踊りに国際色が加わり新しい形で繋いでいく。まさに習志野市の奏でる未来を感じました。

そんな楽しい時間の中で1点だけ心残りなことがありました。それは男の子の甚平や浴衣が足りず、息子に浴衣を着せたい親御さんの気持ちに添えてあげられなかったことです。ご自宅に眠っている甚平や浴衣がありましたらNIAにご寄付いただけると幸甚です。

日本語ボランティア研修会が 開かれました 中村松男（日本語教室部会）

日本語ボランティアの指導力ブラッシュアップのための日本語ボランティア研修会が7月31日（水）、開催されました。2024年度第1回は「地域日本語教育の新しい方向性とその具体的な内容を知る、考える」、サブタイトルは「この5年間〈コロナ前とコロナ後〉の地域の日本語教室の移り変わり」を掲げました。参加者35名でした。今回も吉田聖子先生を講師にお迎えしました。吉田先生は、文化庁の日本語教育に関する講師やアドバイザーをされ、日本語教室部会のボランティア養成講座の講師をされています。

まず、日本に在住する外国人の国籍、在留資格別の変化について説明がありました。さらに、日本語教育に取り組む国（所管が文化庁から文部科学省に移管）、県、市それぞれの役割の変化、教材等の変化についても説明をいただきました。

次に、学習者のタイプの違いを整理し、初心者とそれ以



上の学習者に対して使用する教材を見て、その違いを比較し、議論しました。参加者は、同じ曜日に活動している人たち同士で5、6人のグループになり、グループ内で、日ごろ気になっていることや困っていることなどを話し合いました。毎週、教室では教えている様子を見かけることはあっても、声をかけることは少ないので、情報交換としても貴重な時間でした。

最後に、我々ボランティアに向けて、「学習者に一度に100%に達するような成果を求めない」、「会話をしながら、日本語の経験の場を繰り返し提供する」といった基本的気構えを添えて、励ましのお言葉をいただき、予定時間をオーバーして終了しました。

インド大使館から習志野市に 本が寄贈されました

7月に駐日インド大使館から習志野市にインドに関する書籍26冊が寄贈され、市長からも感謝状が渡されました。

書籍は、文化、アート、食物、住宅など生活に身近な題材やインドの昔話など多岐にわたり、絵や写真で見ても楽しめるものがあります。

市立中央図書館の外国語図書コーナーに収められますが、市内小中学校に貸出す計画もあります。

市民がインドへの関心をさらに深める一助になることが期待されています。



吉村会長のCoffee Break

第3回 北朝鮮に行ってみた〈前編〉

私が北朝鮮を訪問したのは2015年10月だった。私は国連ニューヨーク本部勤務時代から水の専門家として、多くの途上国や紛争国の水問題解決に努力してきたが、北朝鮮の水問題に関する信頼できる情報が当時極端に少なかった。そこ



宇宙科学者住宅団地。「家具付き住宅はすべて将軍様から頂きました。感謝しています!」と現地の女性から説明された。しかし台所やトイレも水が出なかった。バケツに溜められた水を使用!水道は断水(停水)中

で現地入りして自分の目と足で「北朝鮮の水問題」を直接確認するのが訪問目的であった。

◎北朝鮮の入国審査

北朝鮮には1週間滞在した。北朝鮮と日本とは国交がないので羽田空港から中国北京に入り、同日に在中国北朝鮮大使館にてVISA(ビザ)申請。ビザはパスポートに挟む一枚のカードで北朝鮮出国時に回収される。従ってパスポートには一切記録が残らない。翌日ビザを持って北京空港から北朝鮮唯一の航空会社「高麗航空」に搭乗し、約1時間半で新設された平壤空港(2015年7月1日に開港)に到着した。空港では入国手続きに加え、厳重な荷物検査が行われた。

例えば本や辞書の持ち込み禁止。DVD、CDの持ち込み禁止。さらにスマホやパソコンの中の画像および動画のチェックがある。空港では案内人(ガイド)という高級工作人(2人)が待っており、5日間の道中すべての付き添いだった。平壤市内でさえ外国人が1人で歩くことは許されていない。案内された場所以外の撮影は許可が必要である。

(吉村和就/習志野市国際交流協会会長、国連テクニカルアドバイザー)

世界の料理教室「中国の家庭料理」が開かれました

野口文子(文化交流部会員)

7月24日(水)文化交流部会主催による世界の料理教室が菊田公民館で行われました。今回は中国の家庭料理。講師はシュウ・アランさんでした。メニューは3品、「トマトと卵炒め」「ピータン豆腐」「タンツォパイグー(豚スペアリブの甘酢あんかけ)」を教えていただきました。

ピータンは普段あまり使わない食材かもしれませんが、他は卵、トマト、豆腐、スペアリブと馴染のある食材です。調味料も中華料理特有のものではなく、私たちの台所にあるものを使用しました。さすがにニンニクはどの料理にも使いました。日頃生ニンニクの皮は剥きにくいと感じていましたが、先生から皮付きのまま包丁でニンニク片を潰してそれから剥くと剥き易いと教えてもらい、なるほど…と。

「ピータン豆腐」の材料は3つ。ピータン、ピーマン、豆腐です。それぞれ食べやすい大きさに切り、ピーマンだけフライパンで焼き、調味料を加えて和えるだけです。

「スペアリブの甘酢あんかけ」は味付けがとても興味深いものでした。スペアリブは茹でた後、少量の油で揚げて取り出します。残った油に普通の砂糖ではなく、なんと氷砂糖を入れ、溶けて黄色くなるまで沸騰させます。そこに肉、醤油、黒酢、生姜を入れ、よく混ぜ白ごまを振って出来上がり。焦げた氷砂糖の甘さと香りがえも言われぬ美味しさを出していました。「トマトと卵炒め」はあっという間に出来ました。デザートは焼いて熱々のネギパンケーキと甘いお団子の「胡麻大湯円」です。

作るのも食べるのも大満足の中国の家庭料理でした。



市民まつり「習志野きらっと2024」に参加しよう!

日時: 2024年10月13日(日) 10時30分~19時30分
会場: 習志野市庁舎敷地内、市役所通り

NIAのブースは市庁舎の1F東側です。協会のPRや姉妹都市交流の報告を行います。もちろんサンパレードにも参加します!民族衣装での参加も大歓迎です。パレード前に軽食を食べてダンスの練習をし

ますので、パレードに参加する人は事前に事務局へ申し込んでください。

詳細は同封のチラシをご覧ください。

2024年度バスツアーの参加者募集!

日にち: 2024年11月21日(木)

行き先: 千葉県鋸山周辺

参加費: 4,000円(非会員+1,000円)

募集開始: 10月15日(火)から

詳細は同封のチラシをご覧ください。

詳しい記事はホームページをご覧ください

【発行】

習志野市国際交流協会
千葉県習志野市津田沼5-12-12
サンロード津田沼6F
〒275-0016
Tel&Fax 047-452-2650
<http://www.nia08.com/>
nia@jcom.zaq.ne.jp

【広報から】

- ◆ メールマガジンに読者登録をスクウェアの電子版「メール・スクウェア」を配信しています。無料です。配信停止も自由です。配信をご希望の方はPCメールアドレス niasquare@jcom.zaq.ne.jp まで。
- ◆ 原稿をお寄せください
イベントや活動の報告、雑感、国際交流の体験など。
投稿は事務局または niasquare@jcom.zaq.ne.jp へ。
- ◆ スクウェア編集部員を募集しています
一緒に広報活動をやってみませんか。経験不問です。